

北郷町文化財調査報告第7集

平成7年度埋蔵文化財調査概要

城 之 下 遺 跡

1996. 3

北郷町教育委員会

北郷町文化財調査報告第7集

平成7年度埋蔵文化財調査概要

城 之 下 遺 跡

1996. 3

北郷町教育委員会

序

北郷町は県南部に位置し、縄文時代から現代までの人々の営みの痕跡である遺跡が多く存在しています。

平成7年度の発掘調査は、埋蔵文化財を緊急に保護する必要があるとの認識のもと、城之下遺跡の調査を実施しました。この調査により遺跡の確認はもとより多数の資料を収集できましたことは、今後の文化財保護と開発事業との調整を進める上で大きな成果であると思われます。

今後とも、開発事業にあたっては、関係機関などと十分な協議をされることをお願いいたします。

平成7年度の埋蔵文化財発掘調査事業にあたり、調査指導をお願いいたしました県教育委員会並びにご協力をいただきました発掘調査作業員・関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

本報告書が文化財の研究および文化財保護のための資料として役立つことを切望いたしますとともに本町の文化行政に対しなお一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成8年3月

北郷町教育委員会
教育長職務代行者 杉 本 稔

例 言

1. 本書は、北郷町教育委員会が平成7年度に文化庁・宮崎県教育委員会の補助をえて実施した平成7年度埋蔵文化財調査概要報告書です。
2. 本書の執筆・製図・写真撮影等は時元が行った。
3. 本書の編集については、時元が行った。
6. 出土した遺物については、北郷町教育委員会で保管している。

本文目次

第1章 はじめに	1
第2章 発掘調査の概要	2
第3章 おわりに	5

挿図目次

第1図 城之下遺跡周辺位置図	2
第2図 城之下遺跡トレンチ配置図	3
第3図 城之下遺跡第6・7トレンチ出土遺物	4

図版目次

図版1 前山砦と城之下遺跡遠景	6
図版2 城之下遺跡第2トレンチ調査状況・南側壁面	7
図版3 城之下遺跡第6トレンチ調査状況・南側壁面	8
図版4 城之下遺跡第6トレンチ遺物出土状況	9
図版5 城之下遺跡第7トレンチ調査状況・8トレンチ調査状況	10
図版6 城之下遺跡第9トレンチ調査状況・11トレンチ調査状況	11
図版7 城之下遺跡第12トレンチ調査状況・第6・7トレンチ出土遺物	12

第1章 はじめに

北郷町内の遺跡の分布状況は、平成元年度の遺跡詳細分布調査（注1）で約50カ所が確認されている。その後、遺跡付近における開発行為が、年々増加している。

そのため、北郷町教育委員会では、遺跡の区域内で工事が予定された地区について、事前に分布調査を行い、必要と認める場合には試掘調査を実施している。

本年度は、城之下遺跡の1カ所の発掘調査を実施した。調査の方法は、トレンチによる確認調査を行った。遺跡の所在地と調査期間は、下記のとおりである。

遺跡名	所在地	調査期間
城之下遺跡	北郷町大字北河内字城之下	平成7年12月19日から 平成7年12月26日まで

第2章 発掘調査の概要

1. 調査に至る経緯

県宮中山間地域農村活性化総合整備事業北郷地区（宿野地区）に伴い調査を実施した。城之下遺跡は、前山砦の麓に位置している。そのため、城館関係の遺構の可能性が予測された。

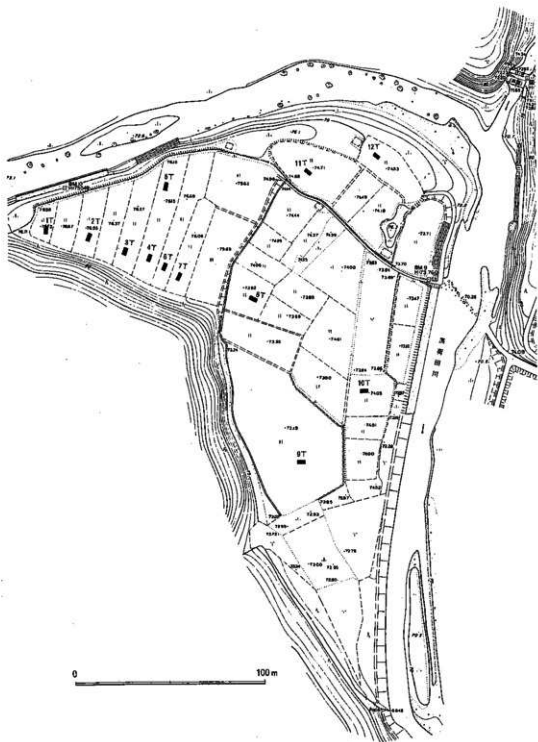
2. 調査の方法と概要

調査の方法は、第1～12トレンチを設定した。第1～7トレンチは、調査範囲の北西側の一段高い水田に位置し、これらのトレンチを中心に調査した。第8～12トレンチは、黒荷田川の氾濫で何度か水害にあっており、耕作土の下は礫層になっている。



第1図 城之下遺跡周辺位置図（1：25,000）

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. 城之下遺跡 | 2. 前田遺跡 | 3. 宮の後遺跡 | 4. 宮の前遺跡 | 5. 牧野遺跡 |
| 6. 池之上遺跡 | 7. 上野上遺跡 | 8. 柿ヶ迫遺跡 | 9. 野野遺跡 | 10. 前山砦跡 |
| 11. 荒原留遺跡 | 12. 中須賀遺跡 | 13. 飯代田遺跡 | 14. 竹頭遺跡 | 15. 合原遺跡 |
| 16. 大塚遺跡 | | | | |



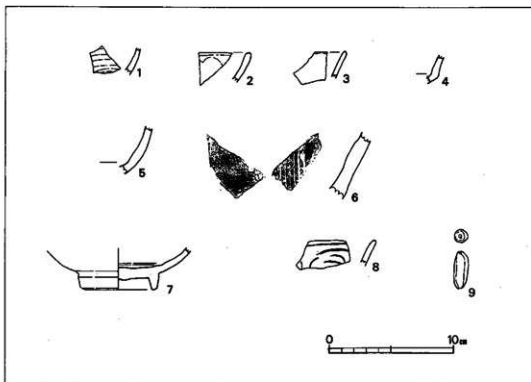
第2図 城之下遺跡トレンチ配置図

基本層序は、第6トレンチの南側壁面で確認した。第I層（耕作土）、第II a層（黄褐色砂質土）、第II b層（茶灰色砂質土）、第III層（青灰色粘質土）、第IV層（茶褐色砂質土）、第V層（暗灰色砂質土）、第VI層（暗褐色粘質土）、第VII層（茶黒色粘質土）、第VIII層（黒茶色粘質土）、第IX層（青灰色粘質土）である。

これらの層の中で、第I層（耕作土）、第II b層（茶灰色砂質土）、第IV層（茶褐色砂質土）は水田の耕作土と考えられる。

出土遺物は、第6・7トレンチから出土した。第6トレンチでは、第II a層から近世陶磁器（第3図 1）、第IV層から14世紀前半頃の青磁・すり鉢（第3図 2～7）が出土した。第7トレンチでは、第IV層から14世紀前半頃の青磁・土甕（第3図 8・9）が出土した。

遺構は、中世から現代にかけての水田状遺構を検出したが、明確な畦畔は検出できなかった。



第3図 城之下遺跡第6・7トレンチ出土遺物（1/3）

第3章 おわりに

本年度の調査は、城之下遺跡の確認調査を実施した。

調査の結果、城之下遺跡では、中世から現代にかけての水田状遺構を検出した。城之下遺跡は、この地域の中世の集落構造を考える上で重要な遺跡と考えられる。

註

- (1) 北郷町教育委員会「北郷町遺跡詳細分布調査報告書」

『北郷町文化財調査報告』 1990

図版 1



前山砦と城之下遺跡遠景

図版 2

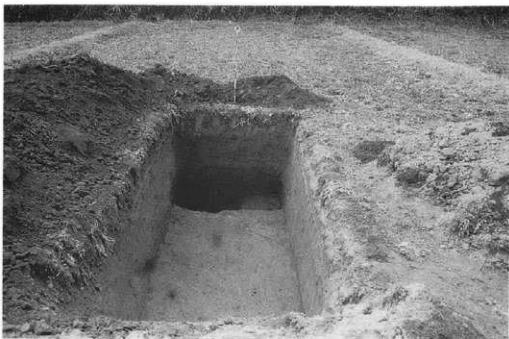


城之下遺跡第 2 トレンチ調査状況

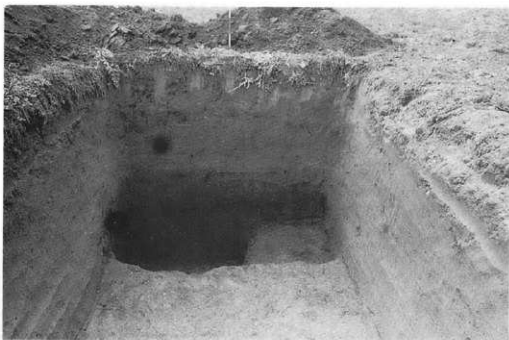


城之下遺跡第 2 トレンチ南側壁面

図版 3

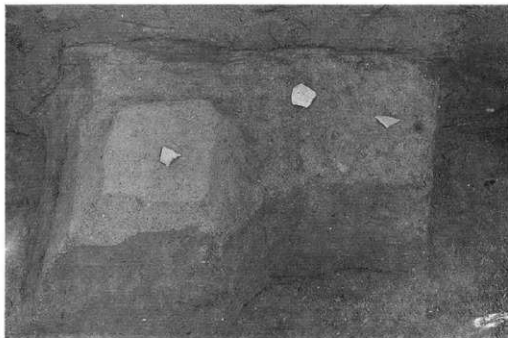


城之下遺跡第6トレンチ調査状況

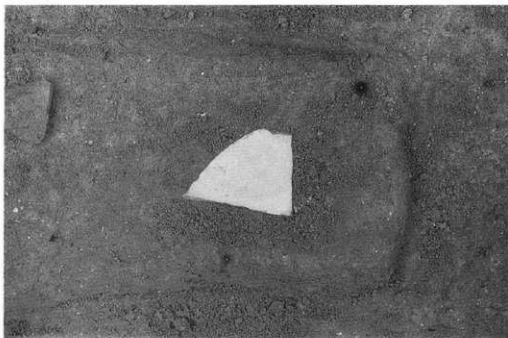


城之下遺跡第6トレンチ南側壁面

図版 4

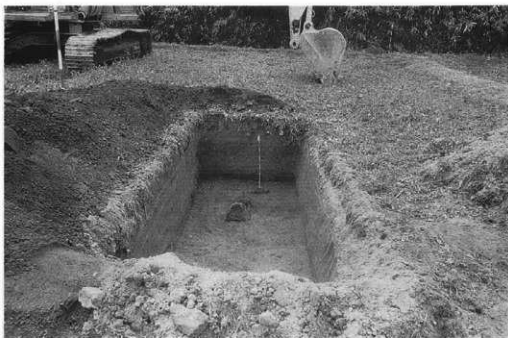


城之下遺跡第6 トレンチ遺物出土状況

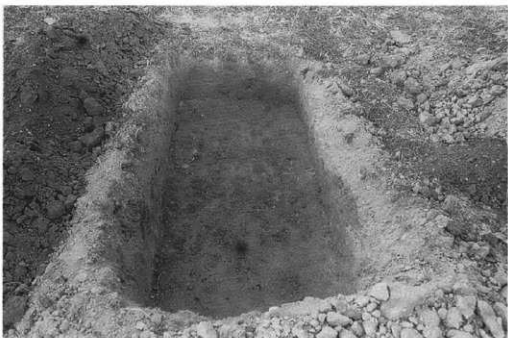


城之下遺跡第6 トレンチ遺物出土状況

図版 5



城之下遺跡第7トレンチ調査状況



城之下遺跡第8トレンチ調査状況

図版 6

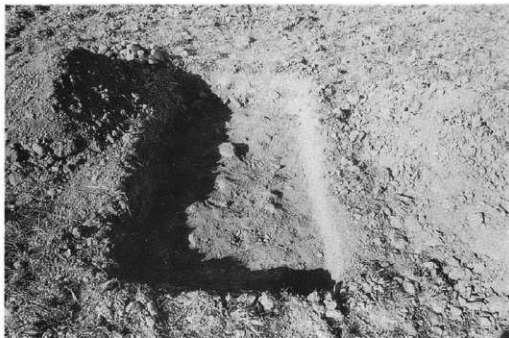


城之下遺跡第9トレンチ調査状況

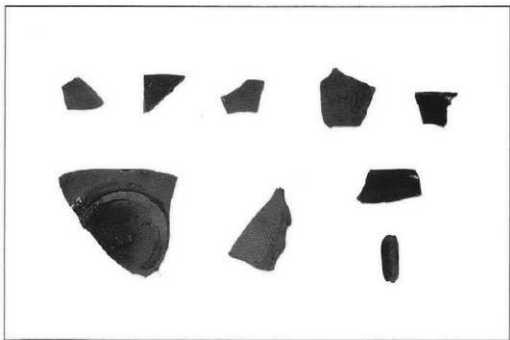


城之下遺跡第11トレンチ調査状況

図版 7



城之下遺跡第12トレンチ調査状況



城之下遺跡第6・7トレンチ出土遺物

報 告 書 抄 録

フリガナ	シロノシタイセキ					
書名	城之下遺跡					
副書名	平成7年度発掘調査概要					
シリーズ名	北郷町文化財調査報告書					
シリーズ番号	7					
編著者名	時元省二					
編集機関	北郷町教育委員会					
所在地	宮崎県南那珂郡北郷町大字郷之原乙1477番地					
発行年月日	1996年3月31日					
フリガナ	シロノシタイセキ					
所収遺跡名	城之下遺跡					
フリガナ	ミナミナカグンキタゴウチョウオオアザキタカワウチアザシロノシタ					
所在地	宮崎県南那珂郡北郷町大字北河内字城之下					
調査期間	19951219～1226					
調査面積	40㎡					
調査原因	県営中山間地域農村活性化総合整備事業北郷地区					
	遺跡名	主な時代	主な遺構	主な遺物	出土量	特記
出土遺物遺構等	城之下遺跡	中世・近世	水田状遺構	陶磁器 青磁 土製品	遺物箱 1箱	

平成7年度埋蔵文化財調査概要報告書

平成8年3月31日

編集・発行

宮崎県北郷町教育委員会

南那珂郡北郷町大字郷之原乙1477

印刷

有限会社ヤノオフセット

